

未来の世界遺産が見えてくる!? 発掘の現場

世界文化遺産登録に決定した『神宿る島』宗像・沖ノ島の関連遺産群の構成資産、新原・奴山古墳群も、発掘から物語が始まりました。はてさて今月は、どのような物語が発掘現場から見えてくるのでしょうか。

奴山正園古墳から出土した縫針

奴山正園古墳は、1977年に発掘調査された直径28mの円墳です。石棺やその周囲から勾玉、滑石製玉、ガラス玉、鉄刀のほか、鉄斧、鎌、鉄製縫針など、たくさんの副葬品が出土しました。中でも鉄製縫針は珍しく、直径5mmの竹筒のケースに、長さ6cmの針が3本ずつ入った状態で12ケースが出土しました。

日本書紀の応神紀には、中国大陸から招かれた衣縫の工女4人が筑紫を通過するとき、胸肩大神の頼みによって、「兄媛」という名の工女を大神に贈ったという記事があります。一説には、兄媛が



▲縫針はカメラステージの歴史資料館に展示中です

神の衣を縫う建物を「縫殿」といい、兄媛が亡くなると祠を建てて祀ったそうです。縫針は、奴山にある縫殿宮と関わりがある興味深い出土品です。

問い合わせ 市教育総務課 ☎62・5093

相談事例 迷ったら一人で悩まず相談を! 消費生活相談

このコーナーでは、悪質商法や商品事故など実際に起きている、消費生活における問題事例を紹介しています。消費者被害は決して他人事ではありません。迷ったり、困ったりしたら、一人で悩まず、ぜひ相談してください。

相談事例 工事の見積内容を理解できていますか

見知らぬ業者が訪問してきて「現在、キャンペーン中なので、100万円で壁の塗装ができます」と勧められた。見積書はあるが、見方がよく分からない。(70代/男性)

アドバイス いろいろな相談窓口を上手に活用しましょう

見積りの見方が分からないというとき、契約前であれば公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター(住まいるダイヤル ☎0570・016・100)を利用することができます。見積書を郵送かファクスで送り、その後、電話で助言を受けることができる住宅専門の相談窓口です。業者に工事内容をしっかり確認した上で、このような相談窓口も利用して慎重に判断しましょう。クーリングオフなどについての相談は、市消費生活相談窓口で対応していますので、ご相談ください。

※毎週月曜・水曜・金曜日(9:00~16:00)は市消費生活相談窓口 ☎43・8106で相談を受け付けています。
※県消費生活センター ☎092・632・0999でも随時相談を受け付けています。

問い合わせ 市地域振興課 ☎62・5014

めざそう 男女がともに歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。



▲活発に意見を交わしてもらいました

子どもたちの男女共同参画の意識

市では、教育・保育の分野における男女共同参画の取り組みが、将来にわたって子どもたちの意識を育むことに、大きな役割を担っていると考えています。

第2次男女共同参画プラン・ふくつでは、基本施策の一つに「就学前・学校教育における男女共同参画の意識づくり」を掲げて、取り組みを進めているところです。その一環として、教育・保育の分野の関係者が相互に情報交換しながら、よりよい子どもへの働きかけを考える場として、2つの委員会を設けてい

ます。一つは、市内の小・中学校の教諭を対象とした「男女平等教育推進委員会」です。そして、もう一つは、市内の市立および私立の保育所の保育士と幼稚園の教諭を対象とした「男女共同参画指導委員会」です。

この二つの委員会の交流会を、8月22日に行いました。交流会は「ワールドカフェ」の形式で行いました。また、今回の交流会には、福岡教育大学にブラジルから留学しているアリーネさんと、アリーネさんの指導を担当している喜多加実代教授も参加しました。

た。アリーネさんは、男女共同参画の研究者で、市の小・中学校や保育所、幼稚園での取り組みにとっても興味を持っています。交流会では、喜多教授の通訳と説明を受けながら、委員の話をとっても熱心に聞いていました。

参加した委員からは「子どもたちの意識は、昔とはずいぶん変わってきたような気がする」といった取り組みの効果を実感している声が多く聞かれました。しかし、その一方で「子どもたちの周囲にいる大人の声かけ、働きかけによって、男はこう、女はこうという考えが刷り込まれていると感じるところもある」といった声も聞かれました。

子どもたちが育つ環境は、学校や保育所、幼稚園だけではなくありません。子どもたちの心の中に芽生えた男女共同参画の意識を大切に守り、育てていく環境を作るという意味でも、市として男女共同参画の啓発に取り組んでいく必要があると強く感じた交流会でした。

問い合わせ 市男女共同参画推進室 ☎43・8116

今月のイチオシ

図書館では一押しの本を集め、ロビーに特集コーナーを作っています。

特集テーマ 「本に恋する季節です!」

10月27日から11月9日までは読書週間です。一冊の本との出会いで、世界の見え方が変わることがあります。本との出会いを楽しみ、本の世界にときめきましましょう。

期間 10月27日(金)~
11月12日(日)



「歓喜の歌」 松岡錠司監督 小林薫出演

大晦日のコンサートホール使用をめぐる騒動を描いた人情コメディ。立川志の輔の落語を映画化したもので、視覚障がい者用の字幕付きです。



「ビレをもらったイルカ」 NHKエンタープライズ

尾ビレの大半を失い、泳ぐ意欲をなくしたイルカの「フジ」。再起を願い、世界初の人工尾ビレを作るために情熱を傾けた人たちの姿を描きます。



「動物と向きあって生きる」 坂東元著 角川学芸出版

「野生動物はペットじゃない」という信念を貫き続ける旭山動物園の現園長が発表した著作です。動物園の奥深さを知ることができます。



「博物館の一日」 いわた慎一郎作・絵 講談社

博物館の연구원たちの仕事ってどんなものでしょう。たくさん驚きと発見に満ちた、国立科学博物館見学が疑似体験できる絵本です。

小学生向け



「星に願いを、そして手を。」 青羽悠著 集英社

宇宙への好奇心を胸に、科学館で青春時代を過ごした4人組。大人になり別の道を歩んでいましたが、館長の死をきっかけに久々に集合します。



「高校図書館デイズ」 成田康子著 筑摩書房

図書室を訪れる生徒たちが、本を介して、司書の先生に自分のことを語ります。それぞれの青春と本にまつわるかけがえのない話です。

中学・高校生向け



「暗幕のゲルニカ」 原田マハ著 新潮社

国連にある名画「ゲルニカ」のタペストリーが、突然姿を消しました。大戦前夜のパリと現代のニューヨーク、スペインが交錯する美術小説です。



「図書館へ行こう!!」 洋泉社

全国で人気の公共図書館から個人の小さな図書館まで、約90館を紹介しています。図書館の仕組みや役割、Q&Aなども収録されています。

問い合わせ 市立図書館 ☎42・8000

運命の一冊

一冊の本が、ひょっとしたらあなたの人生を変えるかもしれません。紹介している本以外にも、約20万冊の本がある市立図書館に、運命の一冊を見つけにきませんか。

きっとステキな本に出会える……はず

